

## 第七十四版追加資料

- 156)石森延男(1969)「山口喜一郎さんのこと」『作文教育』第11集 日本作文教育研究会
- 2514)内田知行(2008)「基調報告 祖国「中国」は「兵隊太郎」をどのように迎えたのかー曹石堂著『祖国よわたしを疑うな』を読んで考えたことー」『立教経済学研究』第61巻3号 立教大学経済学研究会
- 3015)李潤沢(2011)「実務教育からみる日本の中国人教育の特徴ー1910年代の満鉄付属地の状況を中心にー」『国際日本学論叢』No.8 法政大学大学院国際日本学インスティテュート専攻委員会
- 3188)内丸裕佳子、坂野永理、森岡明美(2013)「岡山大学全学日本語コースのカリキュラム改編について」『大学教育研究紀要』第9号 岡山大学国際センター・岡山大学教育開発センター・岡山大学言語教育センター・岡山大学キャリア開発センター
- 3543)村上吉文(2015)「SNSを利用した追跡調査の試みー23年前のモンゴル人学習者に見られる日本語学習効果ー」『海外日本語教育研究』創刊号 海外日本語教育学会
- 3719)山本一生(2016)「扶輪学校設置とその教育活動」貴志俊彦・白山眞理編(2016)『京都大学人文科学研究所所蔵集華北交通写真資料集成 論考編』国書刊行会
- 4006)保坂治朗(2018)「目白にあった東京同文書院」『同文書院記念報』VOL.17 愛知大学東亞同文書院大学記念センター
- 4305)丁世珍(2020)「井伏鱒二「花の町」論ー「傍観者」のイロニーー」『国語と国文学』第97巻第8号 東京大学国語国文学会
- 4937)浅川哲也(2024)「学校文法（国文法）における副詞認定の問題点について」『東京都立大学教職課程紀要』第8号 東京都立大学教職課程紀要編集部会
- 4938)安達万里江(2024)「筑波学院大学の日本語教育ー過去・現在の考察と日本国際学園大学の日本語教育への提案ー」『筑波学院大学紀要』第19集 筑波学院大学
- 4942)伊東祐郎(2024)「「登録日本語教員」の制度と日本語教育分野への影響」『小出記念日本語教育学会論文集』32 小出記念日本語教育学会

- 4953)岡崎幸司(2024)「戦後台湾高等教育機関日本語学科小史（1）－鳥有から勃興へ－」  
『立命館文学』第630号 立命館大学人文学会
- 4954)岡本輝彦(2024)「台湾の應用外語系日文組における日本語教育」『中国学園紀要』第23号 中国学園大学／中国短期大学
- 4959)小野田亮、磯田朋子(2024)「日本のネパール人留学生をめぐる政策と支援体制からみる課題」『看護学統合研究』Vol.26, No.1 広島文化学園大学看護学部
- 4960)垣内哲(2024)「コロナ禍における留学生受け入れ上位校の分析－留学生の総数と比率から見た大学学部の実態－」『桜美林大学研究紀要.総合人間科学研究』第4号 桜美林大学
- 4962)嘉納英明(2024)「沖縄における外国籍等の子どもの支援に関する研究－沖縄市の事例を中心に－」『地域研究』第31号 沖縄大学地域研究所
- 4971)川村潤子(2024)「中国人移住者における在留資格「技能」所持者の実態－在留資格の沿革と東海地域の中華料理人の生活戦略より－」『現代と文化：日本福祉大学研究紀要』第148号 日本福祉大学福祉社会開発研究所
- 4972)鷹野恵(2024)「日本語教師の職能の変遷に関する検討－国家資格「登録日本語教員」をめぐって－」『筑紫女学園大学人間文化研究所年報』第35号 筑紫女学園大学人間文化研究所
- 4997)鹿浦佳子(2024)「関西外大と歩んだ40年間の報告」『関西外国語大学留学生別科 日本語教育論集』第34号 関西外国語大学留学生別科
- 4998)嶋田和子(2024)「地域日本語教育と日本語学校の課題と可能性を探る－教育の質の向上と制度設計を軸に－」『小出記念日本語教育学会論文集』32 小出記念日本語教育学会
- 5001)徐一平、曹英南、ダオ・ティ・ガア・ミー、ポリー・ザトラウスキー、ジャン・バザンテ、カラム・ハリール・サーレム、近藤泰弘、木部暢子、庵功雄、太田陽子、田中祐輔(2024)「日本語学会2024年度春季大会シンポジウム報告 世界の日本語学」『日本語の研究』第20巻3号 日本語学会

5008)助川晃洋(2024)「通級による日本語指導における特別の教育課程の導入ー帰国・外国人児童生徒等へのサポートを意図してー」『教育学論叢』第41号 国士館大学教育学会

5012)瀬戸彩子(2024)「タンザニア・ドドマ大学における日本語教育の歩みー2009年から2020年の記録ー」『国際学報』Vol.2 東京都立大学国際センター

5022)田中祐輔(2024)「共創のための日本語ー担い手の多様化がもたらす双方向性と融合性ー」『文学・語学』第240号 全国大学国語国文学会

5034)土田恵未(2024)「鹿浦佳子先生略歴及び業績一覧」『関西外国語大学留学生別科 日本語教育論集』第34号 関西外国語大学留学生別科

5048)根本愛子(2024)「M-GTAによる日本語教育研究ーM-GTA文献データベースにおける日本語教育領域論文の分析ー」『日本語教育』187号 日本語教育学会

5058)桧山真一(2024)「佐々木喜善とニコライ・ネフスキイーオシラ神の協同研究とその破綻(下)ー」『なろうど』89号 ロシア・フォークロアの会

5062)福池秋水(2024)「関西外国語大学留学生別科における日本語教育実習」『関西外国語大学留学生別科 日本語教育論集』第34号 関西外国語大学留学生別科

5071)道上史絵(2024)「「技能人材」への日本語教育の動向と課題」『立命館アジア・日本研究学術年報』第5号 立命館大学アジア・日本研究所

5087)李郁蕙(2024)「井伏鱒二『花の町』における多言語空間の語り方」『アジア社会文化研究』25号 アジア社会文化研究会

5099)赤松美和(2025)「ハワイのアメリカ化教育政策における越境教育ー1920年代の日本語学校問題とフレンド平和奨学金の日本留学支援への道ー」『評論・社会科学』No.153 同志社大学社会学会

5100)阿部(董)夢(2025)「日本の留学生政策の変遷と展望ーライフキャリア支援の視点からー」『愛知淑徳大学論集. グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科篇』第17号 愛知淑徳大学グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科

5101)飯田朋子(2025)「ブラジル日本語教育における言語政策についての考察—日本語教育関連機関の政策から探る日本語教育の現状—」『海外日本語教育研究』第 20 号 海外日本語教育学会

5102)飯塚友佳子(2025)「越境する中南米ニッケイ人子弟の教育問題—なぜ大阪市から群馬県へと移り住む在留ブラジル人（子弟）が多いのか—」『佛教大学大学院紀要. 社会学研究科篇』第 53 号 佛教大学

5103)飯野令子、スプリスガルト友美(2025)「グダニスク大学の日本語教育における常磐大学交換留学生プログラムの役割—両大学の連携の視点から—」『人間科学』第 43 卷第 1 号 常磐大学人間科学部

5104)井下田貴子、沖本与子(2025)「CJL 漢字科目におけるオンライン教材開発—開発過程と運用—」『早稲田日本語教育実践研究』第 13 号 早稲田大学日本語教育研究センター

5105)井竿富雄(2025)「台湾で生まれた日本語」『山口県立大学学術情報』18 卷 山口県立大学

5106)石鍋浩、安龍洙(2025)「日本語教師による留学生観の質的データに対する経時的検討」『留学生交流・指導研究』Volume 27 国立大学留学生指導研究協議会

5108)伊藤淨江(2025)「30 年の NPO 活動から考える外国人の子どもの教育保障」『ボランティア学研究』Vol.25 国際ボランティア学会

5110)伊藤翼斗、大河内瞳、香月裕介(2025)「『日本語教育』における質的研究的側面の分析—日本語教育学の体系化に向けて—」『日本語教育』191 号 日本語教育学会

5113)上田崇仁(2025)「1940 年代『毎日新報』連載の「国語」学習教材—「國語講座」1940 年 10 月 10 日から 1941 年 2 月 24 日（全 102 回）—」『南山大学日本文化学科論集』第 25 号 南山大学日本文化学科

5115)宇賀神一(2025)「竹中憲一の仕事—「満洲」教育史の基礎的研究—」日本植民地教育史研究会(2025)『植民地教育史研究年報第 27 号 「満洲・満洲国」教育史研究の固有性と独自性を考える』皓星社

- 5116)江原裕美(2025)「ブラジルにおける日本語教育の現状と課題」『帝京大学外国語外国文学論集』第 13 号 帝京大学第 2 外国語部会
- 5117)遠藤佳那子(2025)「W.G.アストン『日本文語文典』初版 訳註稿(5)」『鶴見大学紀要. 第 1 部, 日本語・日本文学編』62 号 鶴見大学
- 5119)王伸子、斎藤達哉、金子里美(2025)「キリストン資料は音読できたか—リーダー教科書としての天草版『伊曾保物語』『平家物語』—」『人文科学年報』第 55 号 専修大学人文科学研究所
- 5120)小川誉子美(2025)「修猷館教師小川直熙による英語講習会の報告 1922 年の石川林四郎と H.E. パーマーの講演」(公材)日本のローマ字社(2025)『Rōmazi no Nippon』  
dai677gō Nippon-no-Rōmaji-sya
- 5122)上出大河(2025)「植民地期台灣における行為要求表現の諸相—『全国小学児童綴方展覧会』採録「綴方」を対象として—」『国学院大学日本語教育研究』第 16 号 国学院大学日本語教育研究会
- 5125)川口敦子(2025)「インディアス総合古文書館所蔵日本関係文書の利用—FILIPINAS 文書を中心に—」『三重大学日本語学文学』第 36 号 三重大学日本語日本文学研究室
- 5127)菊池誠(2025)「大学教育の国際化と教養教育における多文化間共修」『神戸大学大学教育研究』第 33 号 神戸大学大学教育推進機構
- 5128)岸本恵実、中野遙、白井純、豊島正之(2025)「キリストン新出資料・トゥールーズ断簡—日葡辞書稿本とキリストン版国字本を中心にして—」『大阪大学大学院人文学研究科紀要』第 2 卷 大阪大学大学院人文学研究科
- 5132)桑戸孝子(2025)「長崎総合科学大学別科日本語研修課程のあゆみ」『地域論叢：長崎総合科学大学地域科学研究所紀要』No.40 長崎総合科学大学地域科学研究所
- 5135)國分建志(2025)「誤植の殿堂『説日語』—その誕生と変遷(十四)—」『文學藝術』71 共立女子大学文芸学部

- 5137)SAITO, Tomoya(2025)「Ashida Enosuke's Postwar Educational Thought: From "Companions in Self-cultivation" and "Teachers and Students Sharing the Same Flow to "Let Us Grow Together"」『*Kokugakuin Japan Studies*』No.6 國學院大學研究開発推進機構
- 5139)坂田篤義(2025)「山口喜一郎の言葉の教育論と戦後の着地点」『専修大学外国語教育論集』第53号 専修大学外国語教育研究室
- 5140)佐藤智照(2025)「日本語教育における『ヨーロッパ言語共通参考枠(CEFR)』の受容－移民の社会統合に資する日本語教育を目指して－」『島根大学外国語教育センター ジャーナル』20巻 島根大学外国語教育センター
- 5142)實平雅夫、今西利之、藤平愛美、野畠理佳(2025)「変化する日本語教育の風景－ポストコロナ時代の言語学習とAI、日本語教員の国家資格化を踏まえて－」『間谷論集』第19号 大阪大学日本語日本文化教育センター
- 5143)徐一平、坂本恵、趙華敏、曹大峰、冷麗敏、薛鳴(2025)「中国の日本語教育－歴史に学び未来につなぐ－」『中国21』Vol.62 東方書店
- 5144)シュテファン・カイザー(2025)「「天草版ラテン文典」における日本語の記述と「日本大文典」への影響－ラテン語の不定法を中心に－」『国語研究』第88号 國學院大學国語研究会
- 5146)白柳弘幸(2025)「日本統治下台湾における国語講習所教科書」『玉川大学教育博物館紀要』第22号 玉川大学教育博物館
- 5147)城佳世(2025)「明治日本の国粹主義と唱歌教育－わらべうたや日本民謡はどのようにあつかわれたか－」『九州女子大学紀要』第60巻1号 九州女子大学
- 5148)ジョン・ソヨン(2025)「日韓の外来語受容意識について－昭和前・中期を中心に－」『筑波日本語研究』第29号 筑波大学大学院博士課程人文社会系日本語学研究室

5150)瀬井陽子、義永美央子(2025)「言語学習アドバイジングの現場から見る留学生の日本語学習の現状と課題—OU マルチリンガルプラザの事例から—」『多文化社会と留学生交流：大阪大学国際教育交流センター研究論集』第 29 号 大阪大学国際教育交流センター

5151)高橋雅子(2025)「登録日本語教員に向けた日本語教員養成に関する研究の概観－日本語教師を目指す非母語話者の研究に注目して－」『尚美学園大学総合政策論集』第 39 号 尚美学園大学総合政策学部総合政策学会

5153)竹口智之(2025)「サハリン州の大学における日本語教育史－開設期前後に受講した学生のインタビューをもとに－」『言語政策』21 日本言語政策学会

5157)田中祐輔(2025)「共創のための日本語教育－日本社会の変容と制度的変遷からみる日本語教員養成の課題と展望－」『文藝言語研究』87 卷 筑波大学大学院人文社会科学研究科 文芸・言語専攻

5158)ダリナ・グストヴァ(2025)「「孤独」を切り口にした持続可能性日本語教育のための文献紹介－ウクライナ大学生と日本人大学生を対象に－」『人間情報学研究科年誌』第 30 号 東北学院大学大学院人間情報学研究科

5159)趙華敏(2025)「中国における大学日本語教育の現在と未来－ここ二十年の変化を中心 に－」『中国 21』Vol.62 東方書店

5161)辻本桜子(2025)「中間言語語用論における「助言」研究の概観と課題－1990 年から 2023 年までの研究を対象に－」『甲南大学全学共通教育センター紀要』第 3 号 甲南大学全学共通教育センター

5164)時野加奈子(2025)「技能実習制度の過渡期における送り出し国の日本語教育の調査プロジェクト」『年報 2024：名古屋大学大学院人文学研究科教育研究推進室』名古屋大学大学院人文学研究科教育研究推進室

5168)中尾真央(2025)「コロナ禍における日本語教育の取り組みと課題－鹿児島国際大学のオンライン授業を事例として－」『国際文化学部論集』第 26 卷第 2 号 鹿児島国際大学国際文化学部

5169)二瓶知子(2025)「JSL 漢字学習研究会のこれまで」『JSL 漢字学習研究会誌』第 17 号  
JSL 漢字学習研究会

5171)二文字屋修(2025)「外国人介護労働者の受け入れと日本語教育」『日本語教育』191 号  
日本語教育学会

5172)野崎雅子(2025)「戦後日中関係における日本語教育思想－日本語教育関係者の対中認識を中心に－」『社学研論集』Vol.45 早稲田大学大学院社会科学研究科

5175)日暮康晴(2025)「1890～1950 年代の初級日本語教科書における副詞の使用状況と通時的变化－「とても」類の副詞に注目して－」『国際日本研究』第 17 号 筑波大学人文社会科学研究科国際日本研究専攻

5179)符旛恩(2025)「「満州国」の日本語教科書に見られるプロパガンダー『第二種初等日本語読本』を中心に－」『比較文化研究』158 号 比較文化学会

5180)胡偉、党星惠、星千尋(2025)「中国の大学における日本語教育と 国・地域別研究の統合－日本語専攻から日本学専攻へシフトか－」『早稲田日本語教育学』第 38 号 早稲田大学大学院日本語教育研究科

5182)古本裕美、松田嵐(2025)「長崎大学日本語・日本文化プログラムの変遷と課題－プログラム評価における自由記述の質的分析－」『長崎大学留学生教育・支援センター紀要』第 7 号 長崎大学留学生教育・支援センター

5183)Hoang Ngoc Bich Tran(2025)「外国人技能実習生のキャリアを支える日本語教育に関する研究－文献レビューから見た動向と課題－」『関係性の教育学』Vol.24, No.1  
関係性の教育学会

5185)包賀喜格図(2025)「「満州国」の東部内モンゴルにおける日本語教育について」『九州共立大学研究紀要』第 15 卷第 2 号 九州共立大学

5190)三戸貴史(2025)「「やさしい日本語」に関する日本人の意識－先行研究との比較と、回答者の日本語教育に関する知識の有無の観点から－」『学習院大学大学院日本語日本文学』21 号 学習院大学大学院人文科学研究科日本語日本文学専攻

- 5191)南浦涼介(2025)「第 16 章 ことばとシティズンシップ教育」北山夕華、古田雄一、川口広美、斎藤仁一朗、川中大輔編・日本シティズンシップ教育フォーラム監修(2025)『民主的社會をつくるシティズンシップ教育－理論と実践の現在－』ナカニシヤ出版
- 5193)宮本恭子(2025)「生活者としての外国人が包摂される社會をめざして：「ことばのヤングケアラー」－ことばとケアのまなざしから－」『社會文化論集』21巻 島根大学法文学部
- 5194)村松由起子、石毛順子(2025)「豊橋技術科学大学における日本語教育の変遷－学部を中心に－」『雲雀野：豊橋技術科学大学人文科学系紀要』47号 豊橋技術科学大学
- 5197)山口雅代(2025)「戦時下のコタバル日本語学校とソンクラーの状況－コタバルとソンクラーの調査報告－」『東京福祉大学・大学院紀要』第15巻第1-2合併号 東京福祉大学・大学院
- 5199)山脇圭(2025)「日本語教育に関する研究の成果と課題－1970 年代以降に来日した移民を対象とする研究を中心に－」『社会学論集』No.24 中京大学大学院社会学研究科
- 5200)吉井雄樹(2025)「日本語教育における教科書分析の視点とこれからの研究課題－『日本語教育』1号から185号までの文献調査－」『言語コミュニケーション文化』Vol.22, No.1 関西学院大学大学院言語コミュニケーション文化学会
- 5201)林洪(2025)「中国基礎教育段階における日本語教材開発（一九四九～二〇二四年）」『中国 21』Vol.62 東方書店
- 5202)呂建輝(2025)「日本と中国で出版された日本語教科書の比較研究－収録語彙の側面から－」『文化共生学研究』第24号 岡山大学大学院社会文化科学研究科
- 5203)渡邊奈那(2025)「専門日本語教育としての介護の日本語教育－文献レビューによる検討－」『人間情報学研究科年誌』第30号 東北学院大学大学院人間情報学研究科